

特集

埼玉が舞台の本

『活版印刷三日月堂』星たちの聚
ほしおさなえ/著 ポプラ社 ポプラ文庫

川越の川越電送店一番街営業所。そこで働くハルは夫を亡くした一児の母。物語は閉店した町の古い活版印刷所「三日月堂」に、かつての店主の孫娘弓子が訪れるところから始まる。大学進学が決定し、一人暮らしの始まる息子森太郎へのプレゼントを考えていたハルは、ふとした事から弓子へ森太郎の名を刻んだレターセットの制作を依頼する。かつてレターセットは三日月堂の看板商品だったのだ…それ以来、弓子のもとへ活版印刷の依頼が次々とやってくるようになって…。冷たい活字が絆を紡ぐ、ほんのり暖かいドラマ。

『活版印刷三日月堂』海からの手紙
ほしおさなえ/著 ポプラ社 ポプラ文庫

ハルの一件から、本格的に印刷業を始めた弓子。所狭しと並ぶ金属製の活字を一字一字選び出し、印刷機にセットして印刷する。悩める依頼人と、彼らの思いを活字で組む弓子。依頼人の秘めたる思いを組んでいくうちに、少しずつ人の心をほぐしていく。古い技術が今を生きる人々を救う、活字たちが語るハートフルドラマの第2幕。今作は慣れないプレッシャーに悩む駆け出し読書会グループ、乳児期に姉を亡くしていたことを知った少年、一人暮らしで日々に虚しさを感じる少年の親戚、父の体調不良で川越の実家に帰った一家の4本立て。

『Bの戦場』さいたま新都心ブライダル課の攻防
ゆきた志旻/著 集英社 集英社オレンジ文庫

北條香澄は、小さいころから自他共に認める「ブス」。ブスの自分に恋愛や結婚は無理だから、せめて裏方の仕事をと、さいたま新都心のブライダルホテルでウェディングプランナーとして働いていた。そんな彼女の下に、容姿端麗・頭脳明晰の完璧超人、久世が異動してきた。華々しい経歴を辿ってきた彼は、当然行く先々で数多くの女性に交際を申し込まれてきたのだが、何故か全て断ってきたという。そんな彼が唯一交際を申し込んできたのは…。え、私？しかもブスを求めているだって！？ 奇抜なストーリーもさることながら、作中随所にちりばめられた埼玉ネタに、県民なら思わずニヤリ。

川越

川越

さいたま

5月になりました。夏はもう目の前ですね。
さて今回の特集は「埼玉が舞台の本」です。
意外とあるんです！我らが埼玉が舞台の本は！

『鶴ヶ島コンビニ戦記』
幻夜軌跡/著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

鶴ヶ島

かの戦場にて交えるのは…軍勢力でも経済力でもなく、集客力！？ 舞台はシェアを巡って多くのコンビニチェーン店たちの権謀術数渦巻く群雄割拠の日本。「レガシー」に所属する主人公、救世はある日、空という女性と知り合うが、何と彼女は敵対企業にして現トップシェアのヘヴン所属、それもコンビニ営業英才教育プログラム被験者最初の成功例にして、コンビニなしでは生きることができない「営業マシーン」で…。そんなこの国で定期的に行われるのは「コンビニバトルオリンピック」。優勝者に与えられるものは莫大なスポンサー契約。数多の戦士達が、己が存亡をかけ決戦の地、鶴ヶ島へ集う。異能、策謀何でもアリ！コンビニが戦場に化ける、破天荒でアツイ架空戦記…戦記？

『どまんなか』全3巻
須藤靖貴/著 講談社 YA!ENTERTAINMENT

県北

埼玉県立大代台高校に入学した青居礼文（レブン）。熟慮断行をモットーとする彼は、万年1回戦負けの弱小野球部に途中入部することを決めた。レブンを待ち受けるのは、独自の理論で部を率いるゴキゲン監督と個性あふれる仲間たち。チーム一丸となり、熱い魂で甲子園を目指す！時にぶつかり、時に励まし合いながら、同じ目標に向かって突き進む部員たち。話し合いと試行錯誤を繰り返し、「自分以外の誰かのため」に夢の大舞台への挑戦がはじまります。

『小説心が叫びたがってるんだ。』
超平和バスターズ/原作 豊田美加/著 小学館 小学館文庫

秩父

地域ふれあい交流会の実行委員に指名された順・拓実・菜月・大樹。突然のことに、特に順は大慌て。幼い頃の出来事が原因で玉子の妖精におしゃべりを封じられた順は、話そうとすると具合が悪くなる体質になっていた。辞退するために音楽室に向かった順だったが、準備室から聞こえてきた音に足を止める。それが、始まりの第一歩だと気付かずに。嬉しい楽しい言葉もあれば、悲しい苦い言葉もある。傷つき、傷つけ、でもその傷を癒すのも言葉の力なのだなと感じました。